

【参考資料】

富山県の備蓄計画

全体の備蓄計画

- (1) 被害想定（呉羽山断層地震）による4日後避難所避難者数 311,018人のうち、
建物の全壊により、避難時に非常食を持ち出すことのできない者
77,755人（311,018人×0.25）
【(全壊 90,424) / (90,424 + 半壊 273,752) ≒ 25%】

(2) 備蓄割合

備蓄主体	方法	割合	備蓄対象人員
県	現物備蓄	30%	23,327人
	流通備蓄	20%	15,551人
その他	市町村備蓄	40%	31,102人
	応援 ※	10%	7,775人
計		100%	77,755人

※り災をまぬがれた個人等からの支援

(3) 県の食料・資機材の目標

①非常食料 23,327人×3食×3日 = 209,943食

②寝具類 23,327人×1枚/1人 = 23,327枚

※県では毛布（19,709枚）とシュラフ（3,660個）を合わせて「寝具類」として備蓄しています。（令和8年4月1日時点）